

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [東京女子学園中学校・高等学校] 担当教諭名 [吉田 紘子] (高校1-2年 15名)

相手国・地域 [アメリカ]

海外学校名 [Marlboro High School] 担当教諭名 [Barbara Casella]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	地球思考(探究学習)	アートプロジェクト ランチミーティング、放課後制作、校外学習	60

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	人や国の不平等をなくそう
メッセージ (相手と想いを合わせて世界に 発信したいメッセージ)	世界の不平等は、人種の違いによる不平等、性別の違いによる不平等、障がい者の社会環境による不平等、地域・国別格差による不平等、所得格差による不平等の5つあるが、世界は一つ、全ての人が安心して幸せに暮らせるよう協力していこう。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・共通テーマを探究し、両国が共有することで、国は違うが抱えている問題は共通であることがわかった。一緒に解決していこうと一丸となることができた。 ・様々な考え方、見方を尊重するとともに、自分自身の考えにも向き合うことができた。 ・伝えたいことを、絵で表現する芸術の素晴らしさに触れるとともに、芸術の未知なる可能性を体感することができた。 ・みんなで一つのものを作り上げる難しさを体験し、達成感を得ることができた。 ・常に世界に目を向けて、当事者として考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ会議が時差の関係で実現することができなかった。 ・テーマに対して、探究する時間、制作する時間が、足りなかった。 ・制作時、絵に対して苦手な生徒と得意な生徒に分かれてしまい、モチベーションにも繋がってしまった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> •お互いビデオを共有することで、言語の違いはあっても考えていること(趣味など)は同じことが分かって親近感を抱いていた。 •相手国に、日本のことを伝えたいと日本を改めて知ることができた。 •SDGsを深く掘り下げ、日本と他国の現状を調べ、今の自分に何ができるかを考えるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> •共通言語(英語)の重要性を改めて痛感し、生徒にも毎回英語で議事録をお願いし、相手国とフォーラムでのやりとりをリアルタイムで伝えるよう心がけた。 •SDGsに対して教員自ら深く探究することができた。 •テーマに対して、何を調べ、どう伝えていくのか、問題解決の道筋をリードしていったが、今後、様々な物事に生徒自身がこの経験を活かしていけるよう指導していきたい。 •相手国の指導方法、生徒の様子がとても新鮮で、新たな発見の数々に、楽しく参加することができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> •SDGsを調べる→ゴール10に決定(テーマ決定:ブレインストーミング) •自己紹介ビデオ撮影 •グループに分かれて紹介(文化、食べ物、学校、街) 	<ul style="list-style-type: none"> •SDGsを学び、各自が興味あるゴールを持ち寄って話し合うことで、多数の意見を知り、また価値観の違いも理解することができた。 •日本をわかってもらうには何を伝えたら良いか考え、日本を改めて知ることができた。 •英語でのビデオ撮影に四苦八苦ししていた。 	総合学習
共有 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> •SDGs ゴール10「人や国の不平等をなくそう」について掘り下げ(掘り下げ:マインドマップにて5つのテーマ①性別②人種③地域・国別④障がい者の社会環境⑤所得・地域に細分化) •不平等とは何か、平等とは何か、また、ゴール10が達成された世界とは何かを考える。 •現状、考えられる原因、ゴールに向けての仮説を考えた。 •校外学習で視野を広げた。 •グループに分かれ、探究活動し、各テーマの結論を導く。 •常に相手国とは学んだことをフォーラムで共有し、学内では文化祭で発表 	<ul style="list-style-type: none"> •ゴール10の問題は何か、何度も話し合いを重ね、ゴール10が人種、性別、所得、障がい、地域・国別の5つに細分化されることを発見し、グループに分かれて探究活動を行った。 •細分化された5つの中でも各自が興味あることに焦点を当て、主体的に調べていった。 •2回の校外学習では、楽しんで参加していた。 •フォーラムへの投稿、文化祭での発表で、今までの活動を整理することができた。 •英語でのビデオ撮影に四苦八苦ししていた。 	総合学習
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> •お互いのデザインを共有 •一つのデザインを元にラフ画をフォーラムに投稿し、お互いのアイデアを盛り込んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> •絵の得意不得意で、作業に不平等さが出てしまい、モチベーションが下がる。 •表現方法を変え、分担作業化することで、全員参加の制作を意識する。 •デザインでは、伝えたいことをどう表現するのか、何を描くのか考えた。 	総合学習

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
			<ul style="list-style-type: none"> ・世界中の人たちへ発信して行くことを意識し、誰が見てもわかりやすいデザインを考えた。 ・相手国とデザインを統一するために、日本を象徴するものは何か、日本の伝統美術からイメージを探した。 	
創造 壁画制作	11月 12月	・全員で制作できるよう分担し描いた。	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか最終デザインが決まらず、焦る。 ・何日も遅くまで学校に残り、完成させたことでチームでの達成感をあじわった。 	総合学習
評価 振り返り 自己評価	1月 2月	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動をポスターにし、ポスターセッション形式で学内に発表。 ・活動内容を報告書にして振り返る。 	・何度も振り返ることで、今までやってきたことに自信がついた。	総合学習

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	自国の文化紹介する際、日本の文化の素晴らしさに改めて付くことができた。また、アメリカとの違いを理解することで、自国へ愛着や誇りを持つことができた。
異文化を理解する力	5	アメリカからの紹介ビデオを通して、アメリカに興味を持つことができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	テーマの課題に対し、解決するための仮説をたて、探究活動を意欲的におこなった。また、アメリカへの発信だけでなく、学校内に向けての活動の紹介プレゼンテーションやポスター制作、活動報告書の作成など幅広く発信できた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	自己紹介や探究活動成果を伝えるため、英語での表現に努力する姿があったが、時間の関係で skype でのやりとりができなかったのが残念である。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	課題に対して、順序立てて進めて行ったが、時間が足りずあまり深く探究することができなかつた生徒もいた。
主体的に考え行動する力	4	絵の得意不得意がモチベーションに繋がってしまい、主体的に行動することが難しかった。表現方法を変えて対応することができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	アメリカとともに共通課題について探究活動を行い、共有することができた。またデザイン案のやりとりでは、お互いにアイデアを出し合い、お互い納得いくまで意見交換をすることができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	他者に伝えたいメッセージをどう伝えるのか、言語表現に苦労したが、先人たちの作品からヒントをもらい、それをもとに展開することができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	完成した作品をみて、じっくり自分のやってきたことを振り返ることができ、これをもとに、生徒たちは活動報告書を作成し、もう一度 SDGs の課題と向き合い活動を整理し、この活動を通しての考察や展望を考えることができた。